〒キャラクタ-	一名							╗ ┌ プレ	イヤ-	-名 -							スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	Χŧ
ローゼ												ワーディング	*	_	オート	視界	シーン	自動	-						
															効果	具:		-			ヴァード	カエキスト	ラ化		
2.2.18		ハヌマーン						ス UGNチルドレンC カヴァー 学生								リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100		
シンドロー』	4			クス				COGIVYY		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,	<u></u>		効果	具:		-		_	 コスト分の	 HPで復活		1	
オプショナル	ν					年	齢				性別	抄					要の陣形	3	3	メジャー		3体	ドロール	٨	
覚醒		上誕			動		 自傷		初期侵食		3 率 33		%	効果	具:			1	シナ	リオSL[可 対象拡	大	1		
·				_								-					導きの華	1	2	メジャー			R C/交流	步	
出自	疎まれた子			経験			心の壁		選		鱼 彼			効果					対象の次の次	メジャー	達成地SL		1		
	損	本値 ワークス ボーナス 成長			他修	能力化	直	HP 25		25		I	ンジェルボイス	3	4	メジャー			交渉						
肉体	_	1			0		130 DC	حالاا		1		行動値	_	7		具:						イス+SL			
感覚		2		_	0					2		(非装備時		7			風の渡し手	2	3	メジャー		S L + 1 体			
精神		2						3		戦闘移動	·	12	効果						/ーン1回	対象拡大					
社会				0 0			5			8		全力移動 24					ハートビート	5	2	メジャー			交渉		
							d=+-1.4.						効果	具:	対象の次のメジャーSL×2										
肉体			- 4-44		感覚		45-		神	- H		社会			l			★							
技能	SL	- 修正	_	技能	SL	. 修正	+	技能	SL	修正	-	技能	SL	修正	効果	₹:			T	T		T			
白兵	4			射撃	-		+	R C	1		-	交渉			** ==	я.									
回避	_1		_	知覚			/rn	意志	1		↓±±	調達	_		効果	₹ :		1					T		
運転:			芸術				_	1識:				版:UGN 版:FH	5		** ==	я.									
運転: 運転:			芸術				_	識: : 識:				₩ · F П ₩ : 噂話	1		効果	F ·		Т		T			Ι		
運転: 運転:			芸術				_	融・ 識:			情幹		1		効果	B ·									
運転: 運転:			芸術				_	識:			情幸				M.A.	K ·		Т					Ι		
			ムル								III ±	FIX ·			<u> </u> 効果	旦:									
武器・コ		能力	能力 命中値		G値 I	女撃力	り射程				メモ			74371											
2+3+5				0			0			8率3		成地+12ダイス+4			効果	₽:									
2+3+5 100↑		00 1							浸食	8率	達原	成地+16 ₂	ダイス	(+5	7,371			Τ							
															効果	艮:									
防具			価格	装甲	F [回避	行動	ı		メモ					効果	艮:			1				1		
強化服			1	1											私はく	<π(.)	ころよりUGNによって隔離	継された	UGNŦIJ	ミレンだ 私たち	は社会との	安触を極端に	制限され	閉鎖空間の	中で同じようなチルドレンたちと暮らし
													ていか	私は幼いころよりUGNによって隔離されたUGNチルドレンだ、私たちは社会との接触を極端に制限され、閉鎖空間の中で同じようなチルドレンたちと暮らしていた。											
			持品				\neg	合計装甲	合計装甲: 1 合計回避: 0				そんだ	はそのことに不満はないのだが、私の性格はどうしても戦闘には不向きであり、落ちこぼれ扱いされていた、また容量も悪かったから虐められたりもした 分な私の味方になってくれた子がいた「彼」だ、彼は成績優秀だがどこか地味な子であり、彼はUGNに対してひどくいら立ちを募らせていた											
 コネ ; ι	ıan		1200				٦r	ロイス						「人間らしいことをちっとも教えてくれない」だの「日常を守ったって俺たちが日常を味わうことなんてできねえのに!」等と語っていた そんな彼は私のことを機にかけ、面倒をよく見てくれた、そんな中私と彼はヴァンガードの雑誌を読んだ、私たちはそれぞれお気に入りのカードの名前を付けた											
<u>コネ</u> ・噂如								対象 感情(pos) 感情(neg) タイ 消費						私はる		時から「ローゼ」に、彼は「				ゴウた 独	+左雲の呱ゅ	由士ノLF	コーゼた ヱ‐	η Ζ [*] η 羊 Ι 山 Ι た	
コネ:						P N						私た	私たちは初任務の帰りにカードを買ってもらい、私は修羅忍竜ホカゲコンゴウを、彼は夜霧の吸血鬼ナイトローゼを、それぞれ差し出した 私たちはその日、こんな約束をした「もし私がジャームになったら・・・あなた、私を処分しに来て?」「あぁ、いいぜ?その代り俺が死んだらお前が処分する												
コネ;要力		<u> </u>					P N						んだ、	:、ジ	ャームは生きる資格なし、た	ぎが面も	知らねえ奴(こ殺されるのは御	免だ・・・	これで安心し	ノて任務(こ)	はれるぜ」 「	ええ、私も安心できたわ?」		
							D N							それからしばらくして											
								P N							私たちはUGNの訓練課程を終え、それぞれ名前を認められた・・・彼は、UGNを裏切った・・・ 彼はFHで働いているらしい、そんな彼を殺すよう命令が下った、なぜ裏切ったんだろう・・・										
							\dashv		P N																
							\dashv		P N																
								P N																	
													¦												
								最大財産F	最大財産P: 16 残り財産P:																